



2/8 長い冬を快適に過ごせるように

新十津川技能協会（宮野善良会長）が、ボランティアで町内の高齢者宅6軒の除雪作業を行いました。技能協会は、建築や土木、塗装などに従事する方で作る団体で、平成9年から毎年除雪ボランティアを行い、今年は18人がタイヤショベルとスコップで除雪を行いました。

除雪をしてもらった方は、「軒下の雪は固く、自分では除雪できなかったので大変助かりました」と感謝していました。



2/20 楽しみにしていたバイキング

新十津川中学校でバイキング形式の給食が提供されました。3年生58人が体育館にずらりと並んだ19種類のごちそうから、思い思いの料理をお皿に取り分けていました。

秋山慎吾くんは「焼鳥やケーキは普段の給食では出ないので、1週間前からバイキングを楽しみにしていました」とうれしそうに話していました。



2/19 リングプルが車いすに

新十津川中学校の生徒会が、かおる園（特別養護老人ホーム）を訪れ、車いすを寄贈しました。

寄贈した車いすは、新十津川中学校、明苑中学校、中富良野中学校の3校が集めたリングプルを交換したもので、新十津川中学校が代表して町内の福祉施設に寄贈することになりました。

3校を代表して、新十津川中学校2年生の立野百華さんが、「ぜひ活用してください。これからも社会に貢献できる活動をしたいです」と車いすを入所者に手渡しました。



2/24 獅子1年間の舞い納め

新十津川小学校で獅子神楽特別クラブの納会が開かれ、小学生14人が保護者や獅子神楽保存会の会員が見守る中、獅子舞を4曲披露しました。

児童たちは活動反省発表の場で「周りの音や動きに合わせて、上手に笛を吹くことができた」「あきらめずに踊ることができ、いっぱい思い出ができた」など、1年間を振り返っていました。

まちのできごと



2/3 新十津川丼

新十津川小学校6年生と新十津川農業高校の生徒たちが「新十津川の農産物を使って、新十津川丼を作ろう!」をテーマに考案したメニューが学校給食で提供されました。

新十津川丼はニンジン、タマネギ、シイタケ、インゲン、長ネギを豚肉とあわせて炒め、醤油や酒などで味付けしたもので、自分たちが考案した料理を見守る児童たちはおいしそうに食べていました。



2/6・13 家庭菜園のコツを伝授

ゆめりあで、新十津川農業高校の木村吉宏教諭を講師に招き、シニアいきいきクラブ「家庭菜園」の講座が行われました。

受講者は講師からコンポストの使用方法や植物の毎日の変化をどのように見るかなどのアドバイスをを受け、有意義な時間を過ごしました。

「雪が融けたら、早速トマトとキュウリを育てます」と意気込んでいた受講者もいました。



2/6 大規模災害時に連携

町と陸上自衛隊滝川駐屯地は、大規模災害時に迅速に初動活動や復旧活動を行うための協定と、町が自衛隊員の留守家族への支援を行う協定を締結しました。

植田町長が「災害時には被害を最小限に食い止めるようお願いします」とあいさつし、首藤滝川駐屯地司令は「協定を結ぶことで災害時の隊員の活動が円滑になるものと考えています」と話していました。



2/8 ハーフテニスで汗流す

スポーツセンターで、第25回全町ハーフテニス大会（ハーフテニス協会主催）が開催され、町民34人（男性18人、女性16人）が、抽選で決定したペアと互いに助け合って優勝を目指しました。

【大会結果】

○男子の部 1位 中村福夫・池田雄介
2位 笹野政美・竹村大樹

○女子の部 1位 秋山千恵子・干場良子
2位 松原洋子・松川純子